



第4回電気化学キャパシタオンライン討論会のご案内

「車載用リチウムイオン電池の現況、動向、キャパシタとのつながり」

全世界における新車販売台数において、電気自動車(BEV)がハイブリッド車(SHEV)を追い越した2021年はEVシフト元年といわれています。我が国においても、BEV専用プラットフォームを採用した電気自動車が販売開始されるようになり、ハイブリッド車王国からの変化の兆しが現れてきています。このようにBEV用蓄電デバイスの重要性はますます高まっているとと言えます。そこで本会では、BEV用蓄電デバイスに関するオンラインでの討論会を企画いたしました。当日は、リチウムイオン電池ならびに電気化学キャパシタに関して長年研究開発に携わってこられた宇恵誠氏に、全世界の主要なBEVの紹介ならびにBEVに搭載されているリチウムイオン電池の技術的観点からの現状と動向、さらには電気化学キャパシタとの関わり合いについて話題提供していただきます。

本企画は、本会会員の多くの皆様に関心を持たれる内容だと思います。是非、多くの方々の参加をお待ちしております。

日時：令和5年11月9日（木）午後3時～（最大1時間半程度）

方式：ZOOMによるオンライン方式

対象：キャパシタ技術委員会会員限定（個人会員の指導する指導学生も含む）

参加費：無料

申込受付締切：令和5年11月2日（木）

申込受付サイト：会員の皆様にはメールにて参加フォームをご案内します。

司会：白石 壮志（群馬大学、本会副委員長）

パネリスト：石本 修一（日本ケミコン（株）、本会委員長）、石川 正司（関西大学）、

萩原 信宏（豊田中央研究所）

プログラム：

① 車載用リチウムイオン電池の現況、動向、キャパシタとのつながり（約40分）

早稲田大学 客員上級研究員（研究院客員教授） 宇恵 誠 氏

② 全体討論（質疑応答、意見交換）（約20分）